

2021年1月20日

投資信託における新商品（インターネット専用）の取り扱い開始について

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、1月25日（月）より、インターネット専用として、新たに投資信託新商品の取り扱いを開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本商品は、世界の株式の中から、主にフィンテック関連企業に投資を行うファンドです。フィンテック（Fin Tech）とは、金融（Finance）と技術（Technology）を組み合わせた造語で最新の情報技術を活用した「新たな金融サービス」のことを言い、スマートフォンやアプリを通じた金融サービスなど、その利便性の高さとともに今後の急成長が期待されています。

当行は、今後とも投資信託商品のラインナップの充実をはかり、お客さまの幅広いニーズにお応えしてまいります。

記

1. 新商品（インターネット専用）の概要

| | |
|-------|---|
| ファンド名 | グローバル・フィンテック株式ファンド グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり) |
| 商品分類 | 追加型投信/内外/株式 |
| 特徴 | (1) 今後の成長が期待されるフィンテック関連企業の株式を中心に投資を行うことにより、中長期的な信託財産の成長を目指します。 (2) イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（アーク社）からの助言をもとに、日興アセットマネジメントアメリカズ・インクがポートフォリオを構築します。 (3) 主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。 |
| 投信会社 | 日興アセットマネジメント株式会社 |

2. 取扱開始日

2021年1月25日（月）

※取扱開始日の午前9時からインターネットバンキングでのお申し込みが可能です。

3. 取扱店

インターネット専用商品のため、窓口でのお取り扱いはいたしません。

以 上

グローバル・フィンテック株式ファンド グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり) 追加型投信 / 内外 / 株式

ファンドの特色

- 1 世界の株式の中から主にフィンテック関連企業の株式などに投資します。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 お客様の運用ニーズに応じて、為替ヘッジの有無が異なる2ファンドからお選びいただけます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

フィンテックはスマートフォンのアプリなどを通じた金融サービスを中心に急成長しており、その利便性の高さから「私たちの生活を一変させるイノベーション」として注目されています。

フィンテックとは

■フィンテック(FinTech)とは金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語で、最新の情報技術を活用した「新たな金融サービス」のことを言います。

金融サービスの技術革新の変遷

現金の入出金の自由が拡大



通信技術の発展による
“金融のネットワーク化”

1970年代

現金なしで買い物が可能に



1980年代

ネット証券やネットバンキングなどで自宅ですぐ取引が可能に



インターネットの普及による
“金融のオンライン化”

1990年代後半



さらなる利便性の向上

フィンテック
イノベーションによる
“金融サービスのデジタル化”

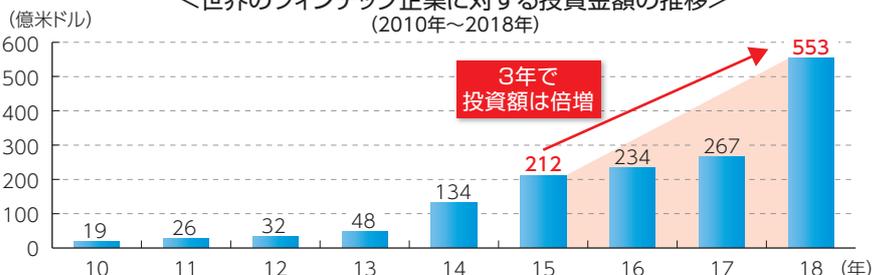
2000年代後半～

※上図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

高い成長が見込まれるフィンテック

急増するフィンテック関連分野への投資

＜世界のフィンテック企業に対する投資金額の推移＞
(2010年～2018年)



フィンテック関連事業への投資は、今後も技術の進歩に応じて急速な増加が見込まれます。

出所:CB Insights、アクセンチュア

※グラフデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

足利銀行

株式会社足利銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は

日興アセットマネジメント

日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会:一般社団法人投資信託協会、
一般社団法人日本投資顧問業協会

| お申込みメモ | |
|----------------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 購入単位 | 販売会社が定める単位 ※販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 信託期間 | <1年決算型> 2026年12月7日まで(2016年12月16日設定) <為替ヘッジあり> 2026年12月7日まで(2017年9月15日設定) |
| 決算日 | 毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日) |
| 購入・換金 申込不可日 | 販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 |

| 手数料等の概要 | |
|---|---|
| 投資者の皆様には以下の費用をご負担いただけます。 <申込時、換金時にご負担いただく費用> | |
| 購入時手数料 | 購入時の基準価額に対し 3.85%(税抜3.5%)以内 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行えない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 | |
| <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用> | |
| 運用管理費用 (信託報酬) | ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.925%(税抜1.75%) |
| その他の 費用・手数料 | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額 が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 |

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

| | |
|--------|---|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |
| 投資顧問会社 | 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 販売会社 | 株式会社足利銀行 他 |

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様のご投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・フィンテック株式ファンド」「グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認くださいの上、お客様ご自身でご判断ください。